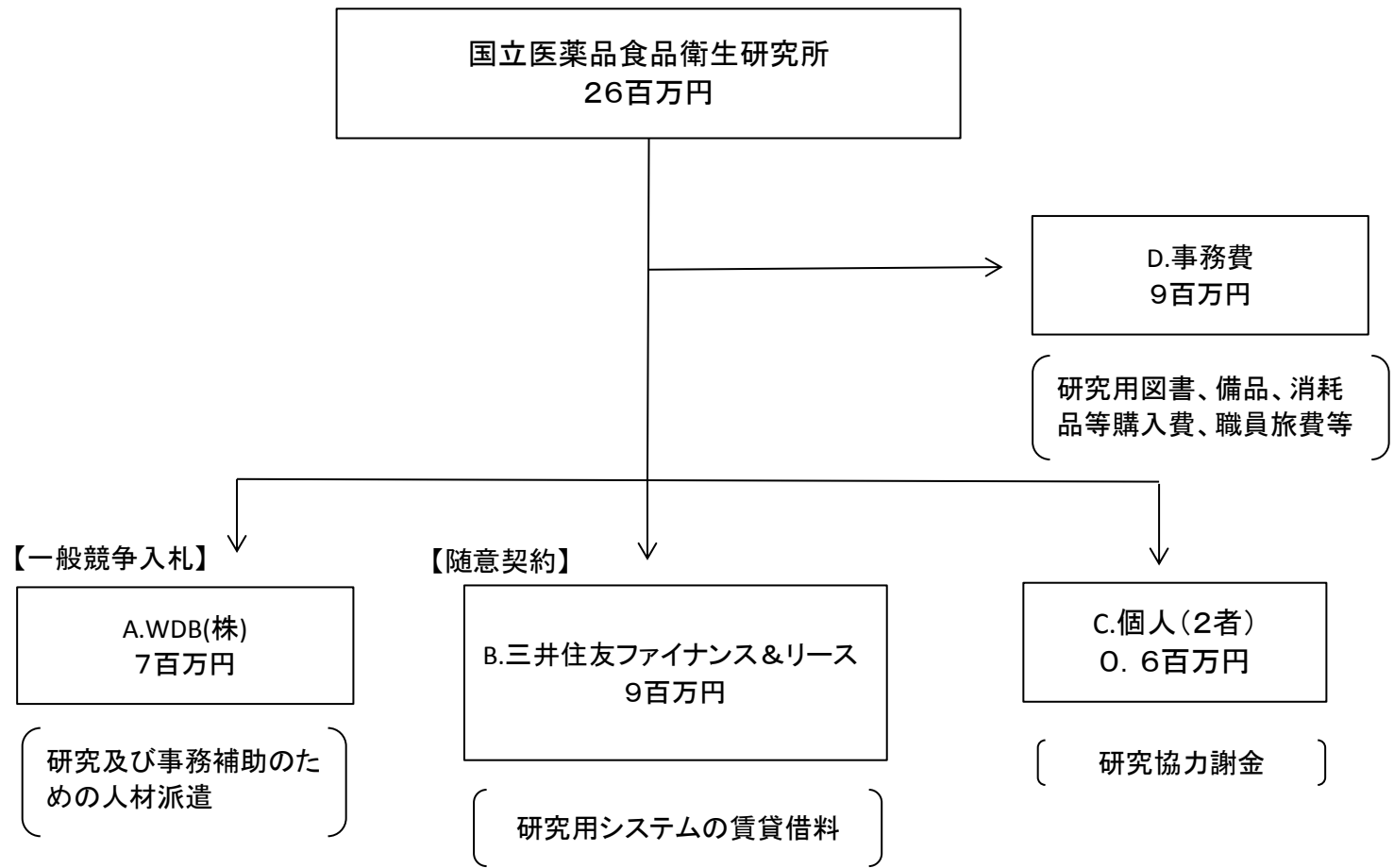


平成25年行政事業レビューシート

事業名	医薬品の安全性に関する情報の科学的・体系的収集、解析、評価及び提供に係る研究事業費		担当部局庁	国立医薬品食品衛生研究所		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度		担当課室	総務部 会計課		岡村 真一		
会計区分	一般会計		政策・施策名	XI-1-1 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保する				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	血液製剤によるHIV感染などを教訓とし、海外の重要な医薬品安全性情報について専門家が収集、分析、評価を行い、厚生労働省等の関連部署及び一般国民に対し、信頼できる最新情報として迅速に分かりやすく提供することにより、健康被害防止や安全性確保に資することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	厚生労働省医薬品局安全対策課・審査管理課、医薬品医療機器総合機構、国立病院、一般の医師・薬剤師、一般国民に対し、①米国FDA、欧州EMA、WHOなどの公的機関や、国際的な主要医学雑誌N Engl J Med, JAMA, Lancetなどから、最新情報を収集、分析、評価し、重要なものについて日本語で隔週、E-mailで情報提供し、ホームページ(HP)にも掲載する。②新たに生じた医薬品関連の課題(新型インフルエンザ流行時の抗ウイルス薬の緊急時使用、海外での医薬品のリスク最小化策の先行例など)に関し、海外公的機関の対策について情報提供やHPへの掲載を行う。③医薬品安全性の情報検索に有用なデータベースの構築を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	28	28	27	26	26	
		補正予算						
		繰越し等						
	計		28	28	27	26	26	
	執行額		28	28	26			
執行率 (%)		100%	100%	97.9%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	ホームページへの年間アクセス件数		成果実績	アクセス数	約25万件	約37万件	約50万件	約50万件
			達成度	%	100	144	200	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	「医薬品安全性情報」を隔週で年間26号発行。総頁数約600頁を目標とする		活動実績 (当初見込み)	号	26号(総頁数約600) (26)	26号(総頁数約600) (26)	26号(総頁数約600) (26)	- (26)
			算出根拠		情報の収集、調査、評価、解析に要するコストは、単位(号)毎に異なっていることから、単純な平均値から費用対効果を測ることは適当ではない。			
単位当たりコスト	-							
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.9	0.9					
	職員旅費	0.8	0.8					
	試験研究費	24	24					
計	26	26						

事業所管部局による点検						
	項目			評価	評価に関する説明	
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	ホームページへのアクセス数は年間約50万件あり、国立研究所の専門家による信頼できる医薬品安全性情報提供サイトとして、広く国民に利用されている。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	国民の健康被害防止に資することを目的に行う事業であるため、国において実施することが適当である。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○	海外の重要な医薬品安全性情報を専門家が収集、分析、評価し、信頼できる最新情報として提供することにより、健康被害防止や安全性確保に資することを目的としており優先度が高いと考える。	
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			△	医薬品安全情報システム賃貸借について、動作環境の互換性を維持する必要から随意契約を締結した。賃貸借期間が終了する7月以降の契約については一般競争入札を実施し、競争性を確保した。なお、随意契約の案件は複数者から見積を徴収し、最廉価格の者と契約を締結した。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-	-	
	単位当たりコストの水準は妥当か。			-	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	真に必要な経費のみ支出している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-	
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	事業目的達成のために効率的な方法で実施しており、また毎年度成果も着実にあげていることから、他の手段と比較して、実効性は高いと考えられる。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	「医薬品安全性情報」の発行実績は年26号(約600ページ)で、見込に見合ったものとなっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	医薬品安全性情報は、関係機関及び国民に広く活用されている。	
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-	-	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	-	-	-			
点検 結果	<p>・「医薬品安全性情報」は、事業開始以来一度も中断することなく定期的に情報提供を行ってきた結果、HPに掲載している各pdfへのアクセス総数は年間約50万件となった。信頼性の高い重要な情報源として、関係者や国民からの需要が大きいため、引き続き現在の水準を維持していく必要がある。</p> <p>・執行管理表により支出先及び使途等について管理を行い、経費の適切な執行に努めている。</p>					
	外部有識者の所見					
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状 通り	本事業は、医薬品食品、化学物質の研究に必要な経費であり、本事業の必要性及び執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状 通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	591	平成23年	538	平成24年	477

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.WDB(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
試験研究費	研究及び事務補助に係る人材派遣	7			
計		7	計		0
B.三井住友ファイナンス&リース(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
試験研究費	研究用システム賃貸借料	9			
計		9	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.(株)有隣堂			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
試験研究費	外国図書購入費	2			
計		2	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	WDB(株)	研究及び事務補助業務に係る人材派遣	7	5	73.78%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三井住友ファイナンス&リース(株)	研究用データベース賃貸借料	9	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	医薬品安全性情報文献調査謝金	0.4		
2	個人B	医薬品安全性情報文献調査謝金	0.16		
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)有隣堂	研究用外国図書購入費	2	4	94.77%
2	(株)伊藤サプライ	研究用事務備品購入費	1.2	随意契約	
3	非常勤職員	研究及び事務補助業務に係る賃金	1		
4	ナカバヤシ(株)	印刷製本費等	1	随意契約	
5	(株)一和堂	研究用事務備品購入費	1	随意契約	
6	(株)紀伊國屋書店	研究用外国図書購入費	0.5	4	92.80%
7	ユサコ(株)	研究用外国図書購入費	0.39	4	97.69%
8	職員A	国内外出張旅費	0.3		
9	職員B	国内外出張旅費	0.3		
10	(株)ビーアイシー	邦訳業務に係る経費	0.3	随意契約	